

シリーズ

躍動する子どもたち！

「体験活動編」

このコーナーでは、隔月で市立学校の取り組みや児童生徒の活動の様子を紹介します。

教育指導課指導係☎ 0824-73-1184



無人ヘリコプターでレンゲの種をまく作業を体験（口和中学校）



思いを込めて栽培中！
（高野小学校）



地域の人から米作りを教わる
（山内小学校）

高野小学校



皆さん、高野町が「夢産地」と呼ばれていることをご存じでしょうか。「夢産地」とは、「生産者が夢をもち、その思いが消費者に感動を届け、次の世代へ受け継がれていく農業のまち」という理念が込められた言葉です。

高野小学校では毎年、生産者の協力の下、３年生が「トマト」、４年生が「大根」、５年生が「りんご」の栽培・販売に取り組んでいます。りんごの栽培では、教えていただいた摘果作業の目的や効果を、実際の作業を通して学んでいます。また、機械を使った農業についても、興味深く学んでいます。

栽培した大根とりんごは、11 月頃に収穫・販売する予定で、児童の思いが消費者に届くよう、学習を進めています。販売日と場所は決定次第、学校のホームページでお知らせします。ぜひお越しください！

山内小学校



山内小学校では、生活科や社会科、総合的な学習の時間を通じて、地域に出かけたり、体験したりしながら、学びを深めています。

５年生は、ブランド米「里山の夢」の米づくりについて地域の人から教わり、田植えや稲刈りなどを体験しました。こうした体験を通して、生産者の努力や工夫、農業の楽しさについて考え、学んだことをまとめています。「米づくりにはたくさんの工夫がある」「土壌によって育ち方に違いがあるのか調べてみたい」という思いから、科学研究にも取り組みました。

他の学年も地域に出かけ、地域の人たちや施設、そこで働く人の思いや温かさに触れています。地域の魅力を発見するとともに、学んだことを振り返る中で新たな疑問を持ち、さらに学びを深めています。これらの活動を通して、子どもたちは「発信力」「継続力」「協働力」を身に付けています。

口和中学校



９月７日～11 日にかけて、口和中学校の２年生が職場体験学習を行いました。生徒たちは福祉施設や公共施設など８カ所の事業所に分かれ、実際の業務を体験しました。本年度はさらに視野を広げるため、口和町内だけでなく、町外でも職場体験学習を行いました。

書店で体験を行った生徒は「お客さまと少しでも話す時間を増やすためには、自分で考えてスムーズに働くことが大切だと感じた」と笑顔で話しました。また、受け入れ先の事業所からは「思いやりの心を大切にして、ここでの経験を生かしてこれからも頑張ってほしい」と温かい言葉をいただきました。

地域と学校が連携し、未来を担う生徒たちが働くことについて考える貴重な機会となりました。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。